

## 基本理念

### 目的（存在理由）

#### 社会への貢献

わたしたちは  
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、  
よって社会に貢献することを目的とします。

### 基本的価値観（不変の主義）

#### 1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、  
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

#### 2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、  
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

#### 3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々\*に対し、  
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

\*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー  
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
ここに第40期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）  
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

米国の金融危機に端を発した100年に一度といわれ  
れる大不況下において、経済情勢が著しく変化を続け  
る一方で、環境問題やグローバル化など地球的  
規模の課題が顕在化しています。このような中、企業  
が存続・成長する上では、これらの変化や課題をいち  
早く捉え、柔軟に対応することがますます重要になって  
おります。

こうした認識のもとに当社は、今期から新たなレンタ  
ル市場の開拓に着手し、少しずつではありますが、確か  
な手ごたえを得るまでになりました。また、環境問題への  
関心の高まりが追い風となり、“繰り返し使える”ユニッ  
トハウスの環境性の高さに注目が集まっております。

必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提  
供する — このユニットハウスのレンタルシステムは、き  
たるべき循環型社会に則したビジネスモデルであること  
も、変化が著しい現在の経済環境においても有効な  
ビジネスモデルであると考えております。今後も、創業当  
時から受け継がれてきたフロンテアスピリッツ（開拓の  
精神）を原点に、困難に直面したときこそが成長のチャ  
ンスであると捉え、鋭意努力を重ねてまいります。

## 当事業年度（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績について

ユニットハウス事業部においては、民間建設投資の急激な冷え込みから建設着工高が減少したことにより、建設現場向けユニットハウスのレンタル受注が厳しい状況で推移しました。

ユニットハウスの販売については、建機レンタル会社などへの販売が堅調だったものの、展示販売場（SPACE-NAVI）の来客数が減少し、一般消費者・中小事業者向け事務所用ユニットハウス・倉庫などの受注が減少したことから、ユニットハウス事業部の売上高は16,566百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

立体駐車装置事業部の売上高は359百万円（前年同期比19.6%増）となりました。

上記の結果、当事業年度売上高は16,926百万円（前年同期比5.1%減）となりました。また利益面においては、全社で諸経費の削減に取り組んだ結果、営業利益1,331百万円（前年同期比6.4%減）、経常利益1,259百万円（前年同期比4.4%減）、当期純利益674百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

建設市場全体の先行きは今後も厳しいことが予想されますが、主力事業である仮設ユニットハウスのレンタルシェア拡大に引き続き注力するとともに、ユニット

ハウスの市場拡大に向けて新たな需要先の開拓に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成21年6月

代表取締役社長 **長妻貴嗣**

